

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成30年4月19日(2018.4.19)

【公開番号】特開2015-196380(P2015-196380A)

【公開日】平成27年11月9日(2015.11.9)

【年通号数】公開・登録公報2015-069

【出願番号】特願2015-52698(P2015-52698)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 2/01 1 0 1

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月5日(2018.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水系インクジェットプリンタに使用するための転写部材であって、前記転写部材が、不織ポリマー繊維マトリックスと；前記不織ポリマー繊維マトリックス全体に分散したポリマーとを含み、前記不織ポリマー繊維マトリックスが、第 1 の表面エネルギーを有し、前記ポリマーが、第 2 の表面エネルギーを有し、前記第 1 の表面エネルギーと前記第 2 の表面エネルギーの差が、約 30 mJ/m^2 ～ 約 5 mJ/m^2 である、転写部材。

【請求項 2】

前記ポリマーが、前記転写部材の約 5 重量% ～ 約 95 重量% 含まれる、請求項 1 に記載の転写部材。

【請求項 3】

前記不織ポリマー繊維マトリックスが、前記転写部材の約 5 重量% ～ 約 95 重量% 含まれる、請求項 1 に記載の転写部材。

【請求項 4】

前記転写部材が、前記不織ポリマー繊維マトリックスのポリマー繊維に沿って均一に分散した導電性粒子をさらに含む、請求項 1 に記載の転写部材。

【請求項 5】

前記導電性粒子が、前記転写部材の約 0.5 重量% ～ 約 30 重量% 含まれる、請求項 4 に記載の転写部材。

【請求項 6】

前記第 1 の表面エネルギーは、約 30 mJ/m^2 ～ 約 60 mJ/m^2 である、請求項 1 に記載の転写部材。

【請求項 7】

前記第 1 の表面エネルギーは、約 25 mJ/m^2 ～ 約 10 mJ/m^2 である、請求項 1 に記載の転写部材。

【請求項 8】

前記第 2 の表面エネルギーは、約 30 mJ/m^2 ～ 約 60 mJ/m^2 である、請求項 1 に記載の転写部材。

【請求項 9】

前記第 2 の表面エネルギーは、約 25 mJ/m^2 ～ 約 10 mJ/m^2 である、請求項 1

に記載の転写部材。

【請求項 10】

水系インクジェットプリンタに使用するための転写部材であって、前記転写部材が、不織ポリマー繊維マトリックスと、前記不織ポリマー繊維マトリックス全体に分散したポリマーと、前記不織ポリマー繊維マトリックスの繊維に沿って均一に分散した導電性粒子とを含み、前記不織ポリマー繊維マトリックスが、第 1 の表面エネルギーを有し、前記ポリマーが、第 2 の表面エネルギーを有し、前記第 1 の表面エネルギーと前記第 2 の表面エネルギーの差が、約 30 mJ/m^2 ～ 約 50 mJ/m^2 である、転写部材。

【請求項 11】

前記ポリマーが、前記転写部材の約 5 重量% ～ 約 95 重量% 含まれる、請求項 10 に記載の転写部材。

【請求項 12】

前記不織ポリマー繊維マトリックスが、前記転写部材の約 5 重量% ～ 約 95 重量% 含まれる、請求項 10 に記載の転写部材。

【請求項 13】

前記導電性粒子が、前記転写部材の約 0.5 重量% ～ 約 30 重量% 含まれる、請求項 10 に記載の転写部材。

【請求項 14】

前記導電性粒子が、グラフェンナノ粒子を含む、請求項 10 に記載の転写部材。